

第三十 自・轉 車 (マーチ).....高等女學校八名

第卅一 ばすけつと、ぼーる.....大學部五十名

第卅二 圓 舞.....大學部各學年

君 が 代.....高等女學校第四五年

番 外 ろーん、てにす.....一等 同 合 唱

午前八時より全九時まで.....大學部七名及び

正午より午後一時まで.....高等女學校五名

●竹柏會、佐々木信綱氏送別會 先月四日、小石川

酒井家邸内に於て、佐々木氏が今回南清漫遊の途

に上らるゝに付きて送別會を開きぬ。席上島田三

郎、巖谷小波氏の演説あり、終りて園遊會の催しあ

り、一同撮影の後五時散會したり、因に全君は先月

卅日新橋發旅行の途に上れりといふ南清偉大の風

光、幾多の詩料を供せんとして君を待てるなるべし。

●東洋女學校創立 文學博士村上專精、文學士

和田鼎、同村上龍英氏等發起人となり大隈伯、渡

邊子、井上兩文學博士等朝野の學者紳士の賛成を

得て一大女學校を創立する由資金は凡そ十五萬圓
の豫算にて募集すべしと其趣意書に曰く

夫れ我國古來の徳教たる近世二百年間士人以上に在ては頗る儒
教に據る者ありと雖も溯りて千數百年間貴賤上下に通じて費ね
く感化を及ぼせる者を求むれば其れ唯佛敎の一途あるのみ而し
て其の化の及ぶ所遺傳の久き浸染の深き其の勢力年平拔く可か
らざる者あり是を以て苟くも之に據て之を導くとときは俗を見へ
風を移すも亦甚だ難しと爲さず是れ固より男女を論せずと雖も
女子に於て尤も更に其の然るを見る然れども現今佛敎各派の情
態たる久しく眞諦に偏倚して俗諦に疎濶なりしを以て未だ遠か
に其要求に應ずること能ばざる者に似たり是に於て世或は儒敎
を主とし或は基敎に資て以て之が教養を爲す者ありと雖も概ね
奮陋に泥まされば新奇を衒ひ遂に國情民俗に契當すること能は
ず其の甚しきは知識愈々進みて言行愈々社會に逕庭し感化益々
深くして動靜愈々家庭に軒輊するが如き者あるに至る人生の一
大恨事豈復た之に過ぐる者あらんや

我等自ら揣らず此の闕典を補充せんが爲めに茲に東洋女學校を
創立し其の智能は尤も社會に切實なる常識の發達を主とし其の
徳器は尤も家庭に順應せる精神の化育を要し新奇を衒はず奮陋
に泥ます智徳相資けて以て健全なる淑女を陶冶する一大鑛輔と
爲さんと欲す云々

●千葉縣女子師範學校設立認可 豫て設置出願